

2022年3月9日
日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2022年3月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している。

最終需要面をみると、個人消費は、持ち直しのペースが鈍化している。観光は、落ち込んだ状態となっている。住宅投資は持ち直している。公共投資は高水準で推移している。設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

生産は緩やかな増加基調にある。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。消費者物価指数は前年を上回った。

先行きについては、感染症の動向のほか、供給制約の拡がりや原材料コストの上昇に加え、最近のウクライナ情勢の影響等を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、持ち直しのペースが鈍化している。財消費は堅調に推移している一方、サービス消費は感染症による下押し圧力が強い状態が続いている。

1月の商業動態統計は、前年を上回った。2月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、落ち込んだ状態となっている。

1月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、上旬までの好調を背景に、前年を上回った。

住宅投資は、持ち直している。

1月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

公共投資は、高水準で推移している。

1月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

1月の建築物着工床面積は、前年を大幅に上回った。2021年度の設備投資（2021年12月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

2. 生産

生産は、緩やかな増加基調にある。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは増加基調にある。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。大手・中堅造船は、横ばい圏内で推移している。中小造船は、更新需要等を背景に高水準の受注残となっており、高操業が続いている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

1月の有効求人倍率は、1.16倍となった。12月の雇用者所得は、前年を下回った。

4. 物価

1月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

5. 金融

1月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

1月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

| | 前回 (2022年2月公表分) | 今回 (2022年3月公表分) |
|-------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 景気全体 (据え置き) | 感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している。 | 感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している。 |
| 個人消費 (据え置き) | 持ち直しのペースが鈍化している。 | 持ち直しのペースが鈍化している。 |
| 観光 (引き下げ) (3か月連続) | 急速に悪化している。 | <u>落ち込んだ状態となっている。</u> |
| 住宅投資 (据え置き) | 持ち直している。 | 持ち直している。 |
| 公共投資 (据え置き) | 高水準で推移している。 | 高水準で推移している。 |
| 設備投資 (据え置き) | 大型案件が寄与して増加している。 | 大型案件が寄与して増加している。 |
| 生産 (据え置き) | 緩やかな増加基調にある。 | 緩やかな増加基調にある。 |
| 雇用・所得 (据え置き) | 労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。 | 労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。 |

(注) 下線は、前回からの変更・追加。